



ポリテク修了生の声

～ポリテクで身につく技術とリアルな知識～

宮都 謹次さん(住まいの点検サービス科)

1. ポリテクセンターの訓練を受講するきっかけ



私は訓練を受講する前、足に怪我をしており完治に1年以上かかると、お医者さんに言われていました。ハローワークの方より足の治療とリハビリが続くのであれば、職業訓練を受けてみてはどうかとアドバイスを受けました。以前から、建築関係の知識をより深く勉強してみたかったので、住まいの点検サービス科の見学説明会に参加してみました。訓練の説明を聞いたあと、指導員の方に怪我のことを相談させていただきましたが、快く受け入れてくださいました。それならば、是非ともこの機会に受講を試みようと思いましたが、

2. ポリテクセンターの訓練について

訓練の内容はとても興味深く、ためになるものばかりでした。実際の建築現場での話や、法律の話、指導員の方の意見など、教科書だけでは知ることができない知識を得ることが出来ました。また、1セクションごとに受講生に対して、質問がないか常に聞いてくださり、誰もが質問しやすい空気感で訓練を受けることが出来ました。訓練を受けてみて、「建築」というものは各分野で細分化されており、一軒の家を建てるのに様々な職種が絡んでいるということがわかりました。地盤調査からお客様に届くまでの内容について、4か月と短い期間の中でしたが、均等に学んでいくことが出来ました。



3. 訓練受講中の就職支援について

訓練期間中は就職ガイダンスというものがあり、自己PRのポイントや職務経歴書の書き方などを教えてもらえます。その後、就職支援のアドバイザーの方に就職活動について個別相談をすることが出来ます。そこでは、過去の訓練生の事例を教えてもらいながら、面接で話すべきこと等をアドバイスいただけます。アドバイザーの方は私が置かれている状況に寄り添って下さり、的確にサポートしてくれました。

4. 訓練を検討されている方へのメッセージ

住まいの点検サービス科の訓練を受けると、世の中の住宅の仕組みや見え方、着眼点が変わってきます。築年数の古い木造住宅と現在の住宅の違いがはっきり分かりますし、昔の建築基準法で建てられた建物は現在では同じように建てることのできないため、リノベーションというものが必要になってくるということも分かるようになりました。

このような内容を勉強したいと思われたら、是非受講をオススメいたします！



住まいの点検サービス科 ～身につく！見つける！“住まいの点検”のワザと仕事～

～今、注目の住宅点検！住宅設備の基本から建築CAD、点検、アフターメンテナンスを学ぶ！～

今、住宅業界では既存住宅の点検の需要が高まっています。当科では既存住宅の点検・評価の方法や住宅設備のアフターサービスやメンテナンスに関する知識・技術を習得します。具体的には住宅の構造や図面の読解などの基礎知識の習得に始まり、住宅の点検(内外装・躯体・設備)や衛生器具の取付けまで座学と実習を通して学習します。